

| | | | |
|-----|--|-------|-------|
| 科目名 | 科学技術英語Ⅱ English for Science and Technology II | 科目コード | 51501 |
|-----|--|-------|-------|

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 学科名・学年 | 環境都市工学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 山本 隆広（環境都市工学科） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・必履修・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】 |
| 教科書 | なし |
| 補助教材 | 配布資料 |
| 参考書 | R. Lewisほか，科学者・技術者のための英語論文の書き方，東京化学同人 |

【A. 科目の概要と関連性】

科学技術英語は、文学英語と異なり、必要十分な内容を決まり文句で簡潔明確に伝える英語である。しかし、科学技術英語が使われる場合は、技術説明、カスタマーサービス、マニュアル、技術報告書、論文、照会・商談など多岐にわたり、言い回しや数学的、科学技術的表現も千差万別である。この授業では、時間的制約を考慮して、英文科学技術論文の書き方、特に英文概要を作成するための基礎を学習する。授業の最終段階では、各自の卒業論文の英文概要を作成する。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|---------------------------------|-------|---------------|
| ① 英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現をマスターする。 | 35% | (b3) |
| ② 英文の構文解析を行い、書かれている内容を理解できる。 | 35% | (b3) |
| ③ 簡単な技術的文章の英語訳ができる。 | 30% | (b3) |

【C. 履修上の注意】

英和、和英中辞典は必ず必要です。授業には必ず持参すること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：前期中間30，前期末40】
- その他の試験（0%）
- レポート（30%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|-----------------------|-------------|
| 1 | 授業ガイダンス, 英語論文の書き方 (1) | |
| 2 | 英語論文の書き方 (2) | |
| 3 | 英語論文の書き方 (3) | |
| 4 | 五文型 (1回目) | |
| 5 | 五文型 (2回目) | |
| 6 | 準動詞 | |
| 7 | 関係詞 | |
| 8 | 接続詞 | |
| 9 | 中間試験 | 試験時間 : 50 分 |
| 10 | 英文概要の構文分析 | |
| 11 | 英文概要の定型的表現方法 | |
| 12 | 和文概要の作成 | |
| 13 | 英文概要の作成 1 | |
| 14 | 英文概要の作成 2 | |
| — | 後期末試験 | 試験時間 : 50 分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |